

令和7年3月

保護者・地域の皆様

和みの学舎世田谷区立奥沢小学校

校長 前田 恵里

令和6年度学校関係者等評価アンケート結果報告書に基づく

令和7年度 学校改善方策

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。令和6年度学校関係者等評価について学校関係者評価委員会からいただいた結果報告書を受け、次のように令和7年度学校改善方策をご報告します。

【回収率】

保護者回収率は、令和4年度が36%、令和5年度は42%と低かったため、令和6年度は、紙面で、アンケートの回答が済んだことを提出してもらうようにしました。それにより、保護者の回収率が94%と、以前の紙だけで行っていた時と同じくらいの回収率になりました。地域については、64%と、少し上がりましたが、案内などを工夫し、回収率が上がるよう努めます。

【学習について】

児童について、ほとんどの項目で肯定的評価が88%以上で、概ね良好との報告がありました。ただ、学年によって、「先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している」が70%を下回りました。これについては、タブレットでの授業が増え、黒板やプリントを使う場面が少なくなってきたことが考えられます。

保護者については、例年と大きく変わりなく、いずれの項目においても肯定的評価が70%前後と、やや低いものとなりました。一方で、「わからない」と回答している保護者も依然として10%以上いらっしゃいます。学校公開での授業で、必ず1時間はタブレット端末を効果的に活用する活動を取り入れるなど、実際に活用の様子を見られるようにしていきます。

児童が、学習において自分たちで課題を設定し、解決できるような授業を行うとともに、児童が、自分の考えを伝えたり、友達の考えを見たり聞いたりする機会を多く設けられるよう、黒板やICTを効果的に用いた授業作りを目指します。

【生活指導について】

児童はいずれも良好でした。その中で、「私は、学校のきまりを守って、行動している。」が、10ポイント上昇しました。一方で、保護者の「本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている」は、63%と低く、毎年少しづつ低下してきました。そこで、学校で統一した学習や生活のルールを掲示したり、児童運営委員会で話し合いを行い、全校に呼び掛ける活動をしたりし、改善を図ります。また、ルールや取り組みなどをすぐーるによる配信や保護者会で周知し、保護者と連携を取り合って進めていきます。

そして、学級、学年で指導を行う際、学期はじめに学年、学級のルールを作り、日常的に朝の会や帰りの

会、学級活動、月の一度の学年集会、チーム集会の時間などを活用して児童同士が話し合い、学期終わりに振り返りを行う取り組みを進めていきます。また、作るだけではなく、作ったルールや今あるルールを見直すなど、自分事として主体的にルールを守ろうとする意識を育てていきます。

【学校行事について】

児童、保護者ともに全て良好と報告を受けています。児童においては、どの項目も肯定的回答が86%を超えていています。引き続き、児童の考えを取り入れながら、児童が主体的に活動し、達成感が得られるように指導していきます。

【キャリア教育】

児童においては、昨年度10ポイント近く下がったところから、持ち直し以前と同じくらいの数値になっています。しかし、「区立中学校に関する情報が提供されている」の肯定的評価が、60%と、低い値になりました。

近隣の中学校と連携をとり、児童の関心がもたれる工夫をしていきます。各学年、学級でキャリア教育の視点を踏まえた授業を行い、その様子をHPで紹介していきます。また、令和5年度から始めている本校3、4年保護者を対象にした近隣中学校校長のお話も継続していきます。

【本校の教職員について】

児童の結果は、いずれも良好でした。保護者については、学年によって、結果に違いが出ました。今年度から実施したチーム担任制によるところもあると考えます。そのチーム担任制についてのアンケートを集計した結果から、「誰に相談していいか困る」という課題があがりました。年度初めの保護者会で、誰にでも相談していいことを周知し、学校便りにもその旨を記載していきます。

【全般について】

児童については、「家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている」の項目が低いです。長期休みの課題に「キュビナ」を活用するなど、e-ラーニングに触れる機会を設定していきます。

保護者については、「子どもは家庭で自主的に学習している」が低く、家庭学習の不足が心配されます。家庭学習の課題に、自主的に学習したいと思える課題を学校が出せていないのが現状です。今後、家庭との連携を深め、できる限り課題の内容や出し方を工夫していきます。また、「本校の教育活動に満足している」の項目をより高めるために、校内研究を充実させるとともに、チーム担任制を取り入れている学年では、より質の高い授業を展開できるよう、教科の分担を的確に行います。

「体力の向上・健康的な生活について」は、現在、体力テストの結果を夏の個人面談で周知し、保護者の方とお子様の課題を共有しています。また、全校での体育的な取り組みの“レツツラン”や“レツツジャンプ”など、授業の時間以外でも体力向上を目指す活動をしていきます。

【情報提供について】

保護者の『学び舎』の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている、地域の『学び舎』の活動について、情報が提供されているの項目が、やや低い結果となりました。学び舎での取り組みを充実させる

とともに、学校ホームページなどを活用し、情報をきちんとお伝えしていきます。また、奥沢中の学校便りを配布するとともに、保護者会に奥沢中学校長が説明に来てくださったり、7月に授業公開をしたりしています。6年生の保護者だけでなく、全学年の保護者に情報が伝わるような取り組みを意識的に取り入れていきます。

【学校運営について】

学校関係者評価委員の方からは、保護者への必要な情報提供がなされており、保護者からおおむね良好の評価が得られています。昨年度、大きく下がった「地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している」の項目は、昨年度と比べ30ポイント上昇しました。地域の方の声を真摯に受け止め、信頼される学校になれるよう引き続き努めています。

【家庭・地域との連携について】

今年も保護者の「私は、今年度の学校重点目標を理解している」の項目が低い数値となってしまいました。学校重点目標を一つの言葉に集約し、分かりやすく伝えるようにしています。学校便りに常にその言葉を記載し、日常的に触れられるようにし、保護者会でも説明し、ご理解していただきやすいよう改善していきます。

地域との連携については、全学級ではお話の小部屋、1、2年生では「木の実工作」や「昔遊び」、3年生では「花植え活動」、4年生では「石鹼づくり」、「福祉体験」、高学年では外国語の講師、特別支援学級では「ふれあいコンサート」など、地域の方をゲストティーチャーに招いた教育活動を展開しています。学校ホームページなどを活用して、地域の方々と連携した教育活動であるということを保護者・地域の方へ周知していきます。

【学校の安全性について】

保護者の「本校は、安全な学校づくりを進めている」が、昨年度に比べ2ポイントの上昇に留まりました。学校便りや保健便りに、学校でどのような安全対策がとられているかを記載し、保護者に周知していきます。また、子どもたちによる遊びのルール作りや見直しを行い、遊び場所の設定をしていきます。現在、休み時間の事故防止のために看護当番による見守りをしています。引き続き、行い、安全管理に勤めます。次年度は、西門に電子錠の設置を予定しています。外部侵入者阻止にむけてセキュリティを高めていきます。

【奥沢小独自項目について】

保護者の「子どもは、めあてをもって自分から取り組もうとしている」「子どもは、タブレットを使って学習し、分かったことをまとめたり、先生や友達に考えを伝え合ったりすることを楽しんでいる」がやや低い結果となりました。児童が分かったことをまとめたり、自分の考えを伝えあつたりすることで、学びを広げたり、深めたりすることができる授業作りを目指します。その際、タブレット端末、ICTを効果的に活用していきます。教員のICT活用能力を高めるために、研修を設け、最新の技能を多くの教員間で共有し、ICT活用スキルを高めることを目指していきます。

地域の「奥沢小の子どもたちは、気持ちの良いあいさつをしている」については、月の生活目標で週のはじめは挨拶に関する目標を立てたり、児童運営や奥沢中学校の生徒会を中心に、「学び舎あいさつ DAY」に挨拶運動を実施したりするなど、挨拶の向上をめざします。